

祝 国道41号 船津割石防災中心杭打ち式



地元関係者による中心杭打ち

高山こくどうニュースレター11月号

国道41号船津割石防災中心杭打ち式を開催

11月17日（金）、前日までの寒さがおさまり、快晴のもと都竹飛驒市長を始め来賓の方々にご出席いただき、「国道41号船津割石防災中心杭打ち式」を開催しました。

今後は早期供用を目指し事業を進めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

※「中心杭」とは、測量にあたり道路計画線の中心に打つ目印となる杭のこと

祝 国道41号 船津割石防災中心杭打ち式



野津所長(右)も一緒に杭打ちをしました

祝 国道41号 船津割石防災 中心杭打ち式



野津所長による式辞



会場入口で落石被害や整備効果などのパネルを展示

高山国道事務所管内除雪出発式

～冬の飛騨地域を支えるために～



平成29年10月31日 飛騨市古川町 数河除雪センター
～テープカットの様子～

本格的な降雪シーズンを前に、国道41号と中部縦貫自動車道の、冬季の円滑な道路交通の確保や、除雪作業の安全な実施に向けての確認のため、10月31日に数河除雪センターにおいて除雪出発式を行いました。

出発式では、除雪作業受注業者が除雪作業の安全宣言を行い、関係機関・除雪業者及び職員が一致団結し、意識高揚を図りました。

主催者及び来賓挨拶



高山国道事務所
野津隆太所長（主催者）



飛騨市
都竹淳也市長（来賓）



飛騨警察署
山角暁弘署長（来賓）

円滑な道路管理を実施していくためには、地域の皆様、関係機関の皆様との連携・協力が不可欠です。皆様と一体となって、円滑な除雪作業を実施していく事を誓います。

また、仮に大きな災害があった場合は、TEC-FORCEという枠組みの中で、国土交通省全体で支援を行います。

冬の暮らしの中で、飛騨の大動脈である国道41号が安全に通行できることは、地域の生活・産業を守ることに直結します。除雪は雪が降る前が大切といいます。知恵と工夫をこらし、安全に気をつけて飛騨の地域を守って頂きたいです。

冬のシーズンを迎えるにあたり、除雪の体制を盤石にして頂きたいです。ドライバーの多くが除雪に期待を寄せているので、除雪作業を行う方は、体調管理と、作業中の事故防止に注意して行動して頂きたいです。



ボランティア・サポート・プログラム 小型除雪機引渡し



ボランティア・サポート・プログラムの取り組みとして、袈裟丸地区と寺林地区のみなさんに、歩道除雪をして頂きます。そこで、代表者様へ小型除雪機の引渡しを行いました。



除雪作業受注業者による安全宣言



高山国道管内の除雪作業受注業者（坂本土木株・金子工業株・日産工業株）を代表して、坂本土木株が除雪作業を安全に行うことを誓いました。



除雪機械の安全点検



変形・破損などが無いか、灯火類は点灯するか、除雪装置は問題なく稼働するかの確認を行います。2人1組になり、安全確認を行い、除雪そのものの安全に努めています。



ロータリー除雪車

車体前部の切り刃で雪をかきこみ、煙突部分から雪を遠くへ飛ばすことができる機械です。



除雪グレーダー

通行車両に踏み固められてしまった雪を、切り刃で削り、除去する機械です。



除雪トラック

降ったばかりの雪を除去する、道路上の除雪を行ううえで主力となる機械です。



凍結防止剤散布車

道路が凍結しにくくなるように、水が凍る温度を下げる薬剤を散布する機械です。

除雪作業について、地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。
また、道路利用者の皆様方には、万全の冬装備をして頂き、安全運転で道路を利用して頂きますようお願いいたします。

地元経済界の方々による工事現場の視察

中部縦貫自動車道&石浦バイパス1工区(宮峠トンネル)

11/9(木)、地元経済界の方々が中部縦貫自動車道下切高架橋及び石浦バイパス1工区の宮峠トンネルの工事現場を視察されました。下切高架橋は7基の橋脚のうち3基が完成しており、現在2基を施工しています。また、宮峠トンネルは全体の約50%まで掘削が進んでいます。

両事業とも地域経済発展のため、期待を寄せられています。

中部縦貫自動車道 下切高架橋



現在建設中の下切高架橋の橋脚



D51mmの鉄筋同士を繋ぐ“繋ぎ手”を実演

石浦バイパス1工区 宮峠トンネル



トンネル全体(約1.9km)の中間点まで掘り進んでいます



実際に組まれた橋脚の鉄筋を間近で見学する参加者



コンクリート吹き付け機を見上げる参加者



参加者全員で記念撮影

観光地名称に取り替えを行いました！ ～観光地にわかりやすい案内に～

11/1（水）、東上田・矢ヶ野・大垣内の交差点名称を観光地名称に取り替えました。上記3箇所の設置をもちまして、岐阜県内の今年度に取り組む全箇所が完了致しました。

これにより、今まで以上に観光地へわかりやすい案内が可能になります。今後も下呂市内の観光看板やパンフレット等と連動させる活動も行っていく予定です。

●東上田



●下呂温泉北口



下呂温泉は下呂市の観光のメインであり、「東上田」から「下呂温泉北口」という名称に変わることによって、お客様が安心して下呂温泉にお越しいただけます。これを契機に一層のおもてなしの心でお迎えいたします。

(下呂市)



●大垣内



●小坂温泉郷北口



●矢ヶ野



●小坂温泉郷南口



金山トンネルが走りやすくなりました！！

11/6(月)～11/16(木)到下呂市金山町金山トンネルにおける夜間全面交通止めにご理解、ご協力いただきありがとうございました。

今回の夜間全面通行止めの際に、舗装修繕、はく落対策、照明のLED化等の工事を実施しました。引き続き工事を進めていきますのでご協力をお願いします。

照明のLED化



補修後



明るい！

安心！

走りやすい！

舗装修繕



はく落対策

飛騨高山高校の3年生生徒による大型水生植物間引き作業 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”における環境学習～

平成29年11月8日(水)に飛騨高山高校環境科学科3年生23名が参加して、ビオトープ内調整池において大型水生植物の間引き作業を行いました。

ビオトープ内調整池の植生も発達してきましたが、一部の大型水生植物が水面全体を覆うほど繁茂しつつあり、開放的な水面の減少や他の水生植物との競合などがみられるようになりました。

今回の学習では、大型水生生物の間引き作業を実施し、光が当たる開けた水面環境を創出しました。これにより、明るい水面環境を好む昆虫類や小型植物が生息する環境が生成されました。

今後、これらの昆虫類や小型植物が生息する、多様な生態系が創出されるか、注意深く観察していきます。



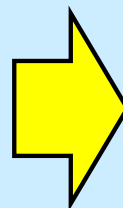
【大型水生植物の間引き作業状況】



【再生が期待できるミズオオバコ】



【作業前】



【作業後】

また、工事の際に移植したコナラ、カラコギカエデなどの樹木にもフジやアケビなどツル性植物が絡みついており、このままでは樹木の成長を阻害するおそれがあることから、樹木に絡まったツル性植物の除去作業を行いました。



【コナラに絡まったフジ】



【ツル性植物の除去作業状況】



走行時のフロントガラスの「くもり」 にご注意を！！

雨の日や寒い日にトンネルを走行すると、急にフロントガラスやヘルメットのシールド等が「くもる」場合があります。

これは、走行中に冷えたフロントガラスやヘルメットのシールド等が、トンネル内の暖かい空気に触れることによって生じる結露と考えられます。

<運転の際の注意点>

○お車の場合

慌てずにワイパーでくもりをとり、エアコン(デフロスタ)や側面窓ガラスを開けるなど外気との温度差を小さくすることで、くもりは徐々になくなります。

○自動二輪車の場合

トンネル進入時は安全な速度と余裕ある車間距離の確保をお願いします。
また、走行前に市販されている「くもり止め剤」をシールド部分に塗っておくことをお勧めします。

冬の飛騨路は、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なります。
通行時は、車間距離を十分とって慎重な運転を心がけて下さい。



「冬のドライブなび中部」のご紹介

「冬のドライブなび中部」では各種の道路情報を発信中！！

降雪状況、路面状態、気象情報などお出かけ前にチェック!!

冬の飛騨路を安全・関心・快適なドライブを！！

ニーズに応じて各種情報を確認して下さい

①道路規制情報 ②地域別道路情報 ③ライブカメラ映像

・飛騨地域、美濃地域、1号鈴鹿峠、名阪国道、富士山周辺、御殿場周辺、長野県南部地域

④積雪・凍結情報 ⑤気象情報 ⑥冬装備の備え ⑦雪道の運転テクニック

<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>

ブックマークしておくと便利です！

運転中の携帯電話の利用はお控え下さい(運転中に携帯電話を手で保持しての使用は法令違反です)



※インターネットで「冬のドライブなび中部」で検索していただければご利用できます。